

# 火の柱

Friends of Jesus 2022.6.15

## イエスの友五綱領

- ①イエスにありて敬虔なること
- ②貧しき者の友となりて労働を愛すること
- ③世界平和のため努力すること
- ④純潔なる生活を尊ぶこと
- ⑤社会奉仕を旨とすること

イエスの友会は、上の五綱領を、生き方の基盤としているキリスト者と賛同者の群れです。(結成1921年10月5日)

テーマ「日々の暮らしの中から」 1p 鈴木武仁・日々の暮らしの中から 2p 東海林昭雄・時来たらば実を結ぶ 佐野徳子・多くの恵みに囲まれて 3p 賛美の力・小野島みき子 津和野乙女峠の巡礼・長谷川勝義 4p 夏期聖修会日程・会員状況・会計報告 高島史弘 小野島正彰

## 日々の暮らしの中から

イエスの友会長

鈴木武仁



紀元前六百年頃、イスラエルの民はバビロン帝国の侵攻によって国は荒廃し、民は捕囚の鎖に繋がれバビロンに移されていた。預言者ハバククは祈りをもって神の御旨を知ろうと努める。

《預言者》という言葉は、右側に頁（おおい）が付いている預言者であって、付いていない《予言者》とは意味が違う。これは占いの師のことで、明日の運勢を予測したりする専門家のことだ。それに対してハバククのような預言者は、現状分析家であって、いかなければアナリストである。現状はこうなっている、近未来はこのように分析できる」と言うのが聖書で言う《預言者の機能》なのだ。

日々の暮らしは破壊され、いつしかエルサレムの復興がなされることを祈り求めた預言者ハバククは、主の御業をもって復興してくださいと、祈り求めた。ハバククという名はヘブル語で「すがりつく」という意味内容だ。

悲しみ、絶望したマグダラのマリアがイエスの十字架の処刑後、三日目に葬られた墓を尋ねると塞いでいた石は転がっていた。中に入ってみると親しいイエスが立っており、暗闇の中で「マリアよ」との呼びかける声を聞く。振り返ってすがりつくようにしたが「よしなさい」と言わ

れ断念したそうだ。ハバククもまた主なる神にすがりつき、最悪の時代の恨み節を言わず、復興の幻をもって神を賛美した。マリアの絶望もハバククの失望もこの世の腐敗と荒廃も復活のキリストによって飲み尽くされたことを聖書は告げている。キリストにすがりつき、復活としての主イエスの中に入り、内在する霊なるキリスト、すなわち命を与える復活の霊（聖霊）と接触する時、復興の力が与えられるのである。それを信じたのはパウロもかりであった。彼はキリストにあつて、いかに悪い時も、良い時も、体が痛く、病んでいても、経済的に行き詰つても窮しない知恵を持っていた。「足る」ことを知っていた。「置かれた境遇で満足すること、貧しくても豊かでも、思い煩わないで暮らす術（すべ）を知った」と言う（フィリピ四章十二節）それゆえにパウロはいかなる時でも喜べと教える。思はず感謝を込めて祈れ、そうすれば神の平安が与えられると言うのだ。ハバククもまた「聖なる宮におられる主の御前で静まれ」（ハバクク二章二十節）と命じ、万事を益としたもう神に委ねよと、必ず神の介入が奇蹟をもって導くと励ます。

平凡な暮らしは、小さな事柄への感謝の積み上げによって祝福されるのである。呼吸ができ感謝、空腹が満たされて感謝、衣食住が足りて感謝、ハバククは「わたしは主によって喜び、わが救いの神のゆえに踊る。わたしの主なる神は、わが力わがたしの足を雌鹿のようにし聖なる高台を歩ませられる」（ハバクク三章十九節）と告げた。

現状不満を持つ者は、信仰も凍てつき、あるものまでも失う。悪い妬みは陰湿となり、良い妬みは、人を生かし、成長する。よって、平凡な事柄でも、祈りをもって解決せよ、と聖書は繰り返し教える。人間的な方策をもってこの社会に平安をもたらすのではない。むしろ祈りの力によって、実現させるのである。ペトロはエルサレムの「美しの門」で施しを求めていた男をじつと見つめ「見なさい」と声をかけた。その男は何かもらえるだろうと見つめると、「持っているものを与えよう。ナザレの人イエス・キリストの名によって立ち上がりなさい」（使徒三章六節）と声をかけ、右手を取って立ち上がらせる。するとその男のくるぶしはしっかりと、踊つたりして神を賛美した。以来、彼は働けるものと変えられおそろく経済的問題は解決したに違いない。

私たちは、現状を分析し、祈って問題を解決しているかどうかを絶えず問い直さねばならないのである。主に対する信仰があると思っても、世俗的解決に頼っていることが多いので注意を要する。

賀川豊彦先生は、社会改良のために労したが、それは飽くことなき祈り一本槍の貫徹であった。神や宗教のために社会を変えるのではなく、苦しみ悩む人々の日々の暮らしを変えるために戦ったのである。その祈りと信仰が、労働組合運動や、生活協同組合運動、世界連邦運動となり、多くの預言者である主のある政治家を生み出す原動力となったのである。本末転倒している宗教ではない。まさに宗教改革の貫徹のための生涯であった。信仰と祈りなくして何ができようか、こう賀川豊彦先生の声は今も聞こえて来る思いで



ある。イエスの友会の使命を自覚し、賀川イズムを継承していく者でありたい。

## 時来たらば実を結ぶ」

書記 東海林昭雄



今年の夏期聖修会においてイエスの友会の一般社団法人化の提案をしたいと考えています。当会は運動体か事業体であるのかという議論がなされた時代がありました。社会的法人格をもって責任ある立場で踏み出しをなす時が到来しているのではないかと確信が与えられています。

私が入会した三十数年前は同期会的な集団という印象を感じました。賀川豊彦と共に友愛活動に奔走することができたことは誉れであり素晴らしいことです。また仲間意識の強さ、過去の活動実績を回顧するのも意味があるかもしれませんが、将来の展望が見えないまま現在に至ってしまった感をぬぐえません。『二十一世紀委員会』というものを若手？を中心に設立しましたが、いつの間にか頓挫してしまいました。

単に運動体として活動し続けるとするならば、賀川精神とその思想は様々な形で継続されることがあったとしても、その大切な想いを次世代の人々に継承するのは具体的な業なくして大変困難なことと思われまふ。教会も然り、生き残りをかけて闘っている現状にあります。教勢

の不振は、どこか自分たちの世界に閉じこもり地域との接点を失ってしまった結果、救いを求めているはずの孤立し失望し、そして悲しんでいる人々の心をとらえることができなくなっているのが原因かもしれまふ。

五年ほど前、キリスト新聞社主催の「教会と福祉」というセミナーを六回開催しました。延べ人数では五百人ほどの参加となりました。狙いは横断的なネットワークを作ろうではないかという点にありました。高齢者福祉に取り組んでいる人たち、障害者を受け入れ町興しを實踐している人たち、児童虐待に取り組んでいる弁護士、寄る辺のない人たちのためにグループホームを運営している教会、それだけでなく、それらの人たちが生きていけるように二百五十円定食屋を営んでいますとの若手の牧師と出会い、驚愕しました。経済的な貧困家庭の子女のために無料で勉強を教えているボランティアもおりまふ。この方はキリスト者ではないけれども参加しましたと自己紹介されました。彼女の属するNPO法人の理事長は黙々と子どもたちのために仕え、自分はこのような思想で行っているのですとは一切語ることはなかつたそうです。が、やはりキリスト者でしたと分かり、信仰はなくても参加しましたとのことでした。そこにその在り方を通してキリストを証している人がおられることに感銘しました。他に地域の福祉のために教会としてダイケアをこれから行いたいと願い参加しましたという地方から来られた方々もおられました。

それぞれが問題意識をもって取り組んでいます。イエスの友会の会員の中にも路上生活者の救済を初めとする様々な友愛活動をしている人々、またそれぞれの分野で専門的な知識を持っている方々もおられます。そういう方々を取り込んでネットワークの受け皿に当る会館なるならば教会自体もまた大きく変えられて生かされるはずで、何故ならば初代教会以来、教会は宣教と福祉を二本柱にしてその業を進めてきたからに他なりません。五月二十日、賀川豊彦関連事業団体の会合に鈴木会長と共に出席し、時の動きを深く感じました。二十八年に「日本協同組合連携機構」が設立されていたことが分かりました。これは全国協同組合中央会や全国生活協同組合などの連合体です。ビジョンは「学ぶとつながるプラットフォーム」ということにあります。

発想が同じであることに驚きを覚えました。賀川はそんな時代に、驚きを覚えたのは明らかです。

賀川の働きはキリスト教会という小さな世界ではなく、それを飛び越えるところのダイナミズムに溢れるものでした。カオス的な時代、教会が光を照らすことができずにその中で翻弄されているとするならば悲しいことです。幕屋をより広げる時が到来しています。示された言葉は「ときが巡りくれば実を結ぶ」（詩編一編三節）でした。カイロスの（神の時）到来です。

## 多くの恵みに囲まれて

岡崎神召教会牧師 佐野徳子  
人生は、まっすぐ、坂道、まさかの道があるといわれますが、私は、イエスの友会



下さった主に栄を記します。

キリスト教の教えを一つも知らず、山々に囲まれた自然の美しい大好きな天草で育った僕（しもべ）は、小学6年生の終わりにつらい試験に悩むようになりました。実は私の父は中学校の教師を地元でして、卒業生が高校に行けないこと、高卒だと町づくりの仕事に貢献できるのにと、悩んだ末に中学校の廃校で定時制農業高校をつくり、16名の方々が入学して下さいました。私が小学3年生の時から我が家を実習園で楽しい日々を送らせていただき、4年後の3月1日新校舎の落成式と第一回卒業式があり、父もとつてもうれしそう、私も大喜びでした。しかし、その喜びもつかの間、3月21日父は疲労で倒れ、あつという間に召されました。父の魂はどこに行つたのか？参列者の偉い先生方に聞きました。大きくなったらわかるからとの返事に私は失望してしまい、希望の星を見失ってしまいました。暗い中学生生活を過ごし、県立高校に勇気を出して出発しましたが、そこでも何も得られませんでした。が、同じ道を歩んでいる友達と楽しく過ごしました。卒業後、はからずも、信仰をもっているおばの家で過ごすことになり、教会に行くように導かれ、牧師先生から死の解決をお聞きし、信じ洗礼を受けま

に出合い力強い方々の祈りと励ましをいただき心から感謝しております。私の貧しい証を書かせていただくチャンスを与えて



した。その後、教会の横にできた保育園の保母になり4年後もつと学びたいと神学校に導かれ、神学校卒業後、園の園長を7年間させていただき、神様の約束を守るため教会、現在の神召教会に結婚と同時に過ごし、現在に至っています。最愛の息子もイエスの友会でご奉仕させていただきましたが、30歳の若さで召され、ショックで主人も召されましたが「なぜと言うなど神はさとす」を守り、今現在私も病を負っています。昨年入院中に求道された和食店の店長さまに洗礼を授けるまで元気になりました。

### 賛美の力

小野島みき子



ダビデは少年の頃、サウル王様の前で立琴を奏でていました。するとどうでしょう「ダビデは立琴を手に取って、ひき、サウルは元気を回復して、良くなり、わざわいの霊は彼から離れた。」(第1サムエル記16:23)

苦しんでいた王様が、わざわいの霊から解放されていくのを見ます。不思議な事です。実はこの前に、主はサウルを王位から退け、サムエルを通してダビデに油を注がれました。この為、神の霊がダビデを通し働かれたのでしょうか。

私達信じる者には、聖霊が内住しています。真の神様を知らない多くの方々の中で、私達が神様を賛美し褒めたたえる事には大きな意味があります。

ゴスペルシンガー小坂忠牧師が4月29日、73歳で召されました。以前韓国で一緒に過ごしていた事があり、暖かなお人柄を思い出していました。YouTubeを探すと、コロナ禍からスタートした映像に出会いました。確かに若い頃の忠さんからすると、髪は白くなり、年齢相応のお姿です。しかし、賛美は衰えを感じるところか生き生きと伝わり、主の栄光が輝いていました。永遠なる主が内住している。今も天でお元気な忠さん。そう思えました。そろそろ肉体の弱さを感じ始めていた私は大きく励ましを受けました。

永遠の主を褒めたたえ賛美できることは私達クリスチャンの特権で、使命でもあります。コロナ禍で外出が許されず、家族で礼拝を捧げた時です。私がピアノを弾き、母は司会、主人は説教。3人から賛美を捧げていました。後日お隣の方から「日曜日、歌っていたでしょう」と言われ、騒音問題かとビックリしていると「私、歌を聞いていたら何故か涙が出てきて、癒されました」と言われました。賛美の力は私たちの思いを超えていたのです。誰かが聞いています。主はいつも聞いておられます。その賛美の中で、聖霊様は確実に働かれます。

先日は、元氣印の母が一過性の高血圧になり、大騒ぎいたしました。物忘れ、コロナ、ウクライナ紛争、食糧難、ひ孫が誕生しても生きてゆく事は大変だ。心配恐れが大きく迫ってきたそうです。今の時代、苦しい思いをされている方は多いかもしれません。信じる私達の賛美は、聖霊様の働きで多くの方々に解放を与え、勝利をもたらします。ダビデの様な働きが

### 津和野乙女峠の巡礼

副会長 長谷川勝義

5月27日から29日にかけて、熊本での朝樺会全国大会があるということで申込み、直前でまたしても中止となりました。前からこの際、九州地域でまだ、訪れていない鹿児島とかその他の所についてに寄る予定をしていたので、大会が無くなっても、キャンセルせずにコースを変えて、2泊3日の旅行を計画しました。まず、福岡の香椎神宮に行きました。こ

こは、神功皇后ゆかりの宮でした。夫の仲哀天皇がこの地で亡くなったので、身重だった神功皇后が天皇に替わって韓国の新羅遠征に赴くのです。卑弥呼と同様神がかりとなって神のご意思を聞くことができました。たいした皇后でした。

次は、国際文化遺産に登録された宗像大社に向かいました。ここは神宿る島沖ノ島とあわせて三社に三人の女神を祀っています。島に渡ることはできませんでしたが、大社の杜の奥にある高宮祭場は木々の枝葉が風によって奏でられる儼かな雰囲気溢れていました。あと、小倉にも寄って小倉城を見学し、新山口で泊まりました。

二日目は、山口と津和野で一日を過ごします。山口では、ザビエルの記念会堂を訪れました。小高い丘の上にあります。静かで、立派な聖堂です。多くの人が訪れるので、聖堂の中には、当時のキリシタ



訪れました。小高い丘の上にあります。静かで、立派な聖堂です。多くの人が訪れるので、聖堂の中には、当時のキリシタ

ンの貴重な資料が展示してあり、どれも興味深いものばかりです。ザビエルは当時ここを治めていた大内氏からキリスト教布教の許可をもらい、多くの人々にキリストの福音を伝えました。井戸端で人々に語っている像も立っていました。

なんととっても一番行きかけたのは、JR山口線の奥の方に位置する津和野です。ここには、長崎四番崩れで、津和野藩に流されたキリシタンの苛酷な収容生活による殉教の歴史があったのです。廃寺であった光琳寺に収容されました。なかなか改宗しなかつたので、次第に厳しい改宗攻めが始まり、食べ物を与えない、凍りつく池に入れる、三尺牢に閉じ込めるとか様々な拷問が行われたのですが、最後まで、耐えて召されていた人のことが、記録に残されています。



津和野から歩いて行ける場所にその光琳寺あとに建てられた殉教記念のマリヤ聖堂があります。せせらぎの小川を上っていきます。かわいらしいマリヤ聖堂と、池の跡、三尺牢の拷問を受けた安太郎という青年の像と彼を励ましたマリヤ像もあります。



ここで、亡くなった赤子も含めて30数名の墓は、数百メートル離れた別の山の中にひそかに葬られました。千人塚と言われています。津和野のカトリック教会の方々が中心となってそこまでの山道を整備し、その途中途中にキリストの

の貴重な資料が展示してあり、どれも興味深いものばかりです。ザビエルは当時ここを治めていた大内氏からキリスト教布教の許可をもらい、多くの人々にキリストの福音を伝えました。井戸端で人々に語っている像も立っていました。なんととっても一番行きかけたのは、JR山口線の奥の方に位置する津和野です。ここには、長崎四番崩れで、津和野藩に流されたキリシタンの苛酷な収容生活による殉教の歴史があったのです。廃寺であった光琳寺に収容されました。なかなか改宗しなかつたので、次第に厳しい改宗攻めが始まり、食べ物を与えない、凍りつく池に入れる、三尺牢に閉じ込めるとか様々な拷問が行われたのですが、最後まで、耐えて召されていた人のことが、記録に残されています。



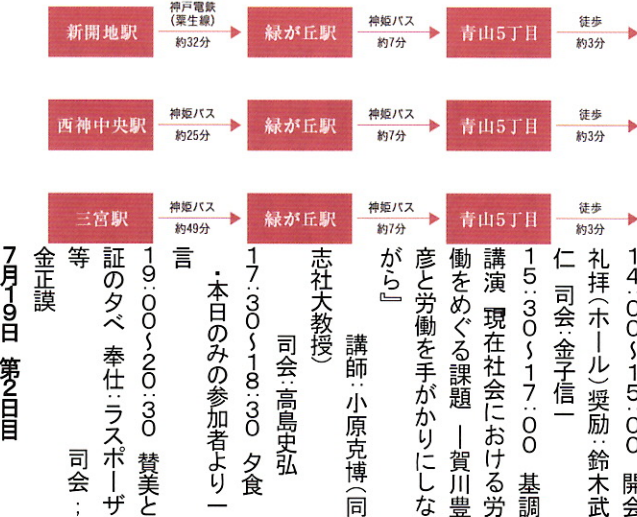
ゴルゴタへの十字架の工程を造ったそうです。これを「十字架の道行」というそうです。これを「十字架の道行」という道行がつけられ、10分ぐらいで迎れます。私が行った時には、一人も出合いませんでしたが、熱心な巡礼者は、ここ津和野の乙女峠の道行を目指して訪れているそうです。津和野の静かな町は、観光客に人気があり、落ち着いたきれいな城下町でした。殿町通りが中心ですが、道路わきにきれいな水が流れ、鯉が泳いでいます。その中心にカトリック教会があり、この殉教の地乙女峠の整備や訪れる人への接待啓蒙に努めています。



その後、新山口まで戻り、新幹線で一気に鹿児島へ、そこで宿泊し、最終日午後6時発のセントレア行の飛行機に乗るまで、終日鹿児島市内を見学してきました。中でも、ザビエル上陸の最初の地、そして、最初の布教の地である鹿児島です。その記念公園があり、大きな碑が建っています。これを確かめるのも今回の旅の大きな目的でした。すぐ前には、やはり立派なカトリック教会があり、聖日だったので、中に入り、一人感謝の祈りを捧げました。パイプオルガンを静かに演奏する婦人がいました。すがすがしいきれいな聖堂と、素晴らしい音楽の調べに心が洗われ、私の三日間の旅も本当に祝福されたものとなりました。

**2022年度第97回イエスの友会  
夏期聖修会 スケジュール**

7.00~7.40 早天集会  
 奨励：小野島正彰 司会：事務局依頼  
 8.00~9.00 朝食 卓主：事務局依頼  
 参加者より一言  
 部屋の荷物の片づけ移動(荷物は研修室へ)  
 10.00~12.00 聖書講演会  
 個別から団結「孤立から共生へ」  
 講師 東海林昭雄 司会：長谷川勝義



テーマ 綱領 實しき者の友となりて、労働を愛する(1ヨハ) 聖書：ヨハネ15章13節 友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。 日時：2021年7月18日(月)~20日(水) 会場：コープ協同学苑 〒673-0521 兵庫県三木市志染町青山7丁目1-4 Tel:0794-851-5500 アクセス：山陽自動車道 三木東インターより6分 電車・バスの場合

**7月18日(月) 第1日目**  
 13:00 受付開始  
 14:00~15:00 開会 礼拝(ホール) 奨励：鈴木武仁 司会：金子信一  
 15:30~17:00 基調講演 現在社会における労働をめぐる課題 ― 賀川豊彦と労働を手がかりにしながら ― 講師：小原克博(同志社大教授) 司会：高島史弘  
 17:30~18:30 夕食  
 ・本日のみの参加者より一言  
 19:00~20:30 賛美と証の夕べ 奉仕：ラス・ポーザ 司会：金正護  
 7月19日 第2日目

12:00~13:00 昼食  
 卓主：事務局依頼 ・各支部報告  
 13:00~15:00 賀川資料室 見学と賀川DVD映像資料視聴  
 別棟研修室と資料館に二つの班に分かれて見学と視聴  
 15:30~17:00 イエスの友会中央委員会(大会) 研修室 司会：事務局  
 17:30~18:30 夕食 卓主：事務局  
 依頼 参加者より一言  
 19:00~20:30 「スベル落語 賀川豊彦ハル物語」 罪ゆるされた女」他 小笠原浩一  
**7月20日 第3日目**  
 7:00~7:40 早天集会  
 奨励：金子信一 司会：事務局依頼  
 8:00~9:00 朝食 卓主：事務局依頼  
 参加者より一言  
 部屋の荷物の片づけ移動(荷物は研修室へ)  
 10:00~11:20 活動報告会(別棟研修室) 司会：事務局  
 11:30~12:00 閉会礼拝  
 奨励：長谷川勝義 司会：及川健治  
 12:00~13:00 昼食 片付け解散  
 ・費用 宿泊費 コロナ対策で原則1人一部屋4900円×2泊9800円 食事 朝食6500円×2食13000円 昼食7500円×2食15000円 夕食11000円×2食22000円 計50000円 参加費  
 会員1日千円×3で30000円(会員外1日15000円 総参加費会員178000円(会員外193000円) ・申込方法 参加費の振込をもって申し込みとする。

**申込締切：2022年7月4日(月)**

**2022年度会計報告**

《2022年四月以降2022年五月迄の状況》  
 ◎維持費(二万二千円) 二名(山形國臣、小野島正彰)  
 ◎会費(三千円) 十七名(高島リリアン、永岡篤信、木村忠雄、中満 恵、梅村貞造、稲木聰子、山形

**「火の柱」第31号**  
 発行人 鈴木武仁  
 発行所 イエスの友会本部  
 発行日 2022年6月15日  
 本部事務局  
 441-8016 愛知県豊橋市弥生町西豊和4-7 高島史弘(イエスの友会 事務局長)  
 携帯 06006495160  
 メール takashima.m63@japan.email.ne.jp  
 郵便振替追加名義 イエスの友会本部  
 口座番号 0017074010000  
 火の柱編集 長谷川勝義  
 火の柱原稿メール先 bwpd58@j.commu.f.jp  
 〒440-0026 Tel:0532-61-4800  
 愛知県豊橋市多米西町2-20-12

國臣、松原辰真、仲里朝治、植西光雄、田島章義、柚 浩二、宮原 亨、小河由美子、堀田政弘、堀田泰子、小野島正彰)  
 ◎感謝献金一名(中満 恵、植木朋子、)  
 ◎購読料(千五百円) 二名(李善恵、渡辺賢次)  
 ◎登録料(五百円) 一名(高島リリアン)  
 ◎百周年記念特別献金三名(梅村貞造、柚 浩二、久保正幸)  
 ◆会費納入と献金のお願い◆  
 尊い献金と会費等でイエスの友会の活動をお支え下さり、イエス様にあつて感謝いたします。▽たくさんの方から会費や献金をいただきました。感謝します。引き続き、各事業活動の費用のための会費や献金をお願いします。  
 会費、献金、維持費、購読料等の振込先は、次のとおりです。  
 ▼郵便振替口座 10017074010000  
 加入者名 「イエスの友会本部」  
 いつもご支援を心から感謝申し上げます  
 (会計担当 小野島正彰)  
**会員情報**  
 (召天者) 細川忍兄 2021年6月5日 享年94才  
 瀬戸健一郎兄 2022年3月25日 享年59才  
 (担当 事務局 高島史弘)